

くるま ゆーざー かんかんば ー み
～車いすユーザーもカンカン場で「やりまわし」が見たい！～

きしわだ まつり くるま ゆーざー かんらんつ あーほうこく 岸和田だんじり祭、車いすユーザーのための観覧ツアー報告

およそ 300年の歴史と伝統を誇る岸和田だんじり祭は全国的にも有名になったお祭りで、9月

さいれい じんこうやく まんにん とし かんかん
祭礼では、人口約20万人の都市に、2日間で
まいとしやく まんにん かんこうきやく まち あふ
毎年約60万人もの観光客で街が溢れます。
わたし じりつせいかつせん たー ー じ
私たち、自立生活センター・いこらーの事
むしょ まつり ちゆうしんち いち
務所は、まさにこの祭の中心地に位置し
ています。

きしわだ まつり きしわだ しみん せいかつ
岸和田だんじり祭は、岸和田市民の生活
なか ふか ねづ きしわだ し で
の中に深く根付いていて、岸和田市を出て
ぜんこくかくち く ひと
全国各地で暮らしている人たちも、だんじ
まつり きかん かんえ
り祭の期間だけは帰ってくるというほど
まつりず ひと すく
祭好きな人も少なくありません。それは、
わたし くるま ゆーざー おな
私たち車いすユーザーにとっても同じで、
まいとし まつり たの ひと
毎年だんじり祭を楽しみにされている人
もおお くるま ゆーざー
も多くいます。でも、車いすユーザーにと
まつり まじか たの
って、だんじり祭を間近で楽しむというの

けつ ようい ふだん もんだい とお しょうてんがい るじ まつ きかんちゆう みうご
は決して容易なことではありません。普段は問題なく通れる商店街や路地も、祭りの期間中は身動
と ひと うつ くるま いどう ひじょう しんけい つか
きが取れないほどの人で埋め尽くされ車いすでの移動は非常に神経を使います。

とく いちばん み ぼ ー ひ て はし そくど の ほうこうてんかん
特に一番の見せ場である「やりまわし」（※曳き手が走り、速度に乗っただんじりを方向転換さ



どうさ み ー ぼしよ にんき
せる動作）が観れるいくつかの場所は人気
すぼつと ー ぼか ぼしよ さら
のスポットであるため、他の場所より更に
ひと おお いきお ひ
人が多く、また、勢いよくだんじりや曳き
て はし ぬ きけん とも くるま
手が走り抜けていくため危険も伴い、車い
ゆーざー ー た い
すユーザーは立ち入ることすらままならな
じょうたい
い状態となります。

にんきすぼつと ひと かんかんば
この人気スポットの一つに「カンカン場」
ぼしよ まつ きかんちゆう
という場所があり、祭りの期間中は
ゆうりょう かんらんせき せっち もつと おお
有料の観覧席が設置され、最も多くの
かんきやく あつ ぼしよ
観客が集まる場所となっています。
かんきやく もつと おお
観客が最も多いということは、曳き手

きあ の ひつぜんてき みごた ー ぼしよ
にとっても気合いが乗るため、必然的に見応えのある場所になっていきます。だからこそ、この
かんかんば かんらんせき かね はら み ぼしよ かんらんせき まつり
カンカン場の観覧席は、お金を払ってでも観たい場所でもあるわけです。でも、この観覧席は祭の
きかんちゆう せっち かせつ かんらんせき くるま ゆーざー み
期間中だけ設置される仮設の観覧席であるため、車いすユーザーが観ることができるような

バリアフリーの設計とはなっていません。

というよりは、そもそも車いすユーザーが「だんじり祭を楽しむ」という前提がないというのが実際だと思います。

そこで、今回は「車いすユーザーも岸和田だんじり祭を体感してほしい！」という思いから、車いすユーザーのためのだんじり祭観覧ツアーとして「試験曳き観覧と地車献灯提灯見学ツアー」を企画しました。

事の発端は、東京にあるNPO法人Checkという、多機能トイレの情報提供・発信を行っている団体から岸和田市社会福祉協議会ボランティアセンター（以後：岸和田市社協）に、「助成金が取れたので、だんじり祭における車いす用トイレマップ作りを協力してやれないか？」という提案があり企画がスタートしたようです。その後、岸和田市社協から、私たち自立生活センター・いこらーをはじめ、祭礼や観光にも関わりの深い関係者である、地元タウン誌の編集者のAさんや、岸和田市観光振興協会が運営する観光情報発信サイト「岸ぶら」の編集長を務めるBさんに相談があり、トイレマップ作りの話を始めましたが、企画検討を始めてすぐに、先に述べたような、だんじり祭における車いすユーザーの現状の話になり、トイレマップ作りだけではなく、車いす観覧席の設置の話へと発展していきました。当初、観覧席の設置場所については、メインのカンカン場ではなく、比較的安全に観覧できるけどメインスポットからは少し離れたところへの設置の意見も出ましたが、東谷から「私たち車いす利用者は、社会参加の機会が与えられたとしても隅に追いやられることが多い。たとえば映画館で車いす席が設置されていても一番前の席でとも見にくい場所にあって残念な思いをすることがある。仕方なしに与えられるのではなく、やっぱり一番いい場所でやり回しを観れてこそ値打ちがある。」と強く訴えた結果、初めから諦めるのではなく、実現するかどうかは分からないけど、一番のメインスポットであるカンカン場での観覧席設置を目指して検討していくことになりました。こうして、話し合いを重ねる中で夢は広がって行きましたが、このことを形にしていくためには、地元祭礼団体等の協力が不可欠な訳で、果たして歴史と伝統のあるだんじり祭に、私たちの思いが受け入れてもらえるのだろうか？という大きな不安を抱えていました。でも、そんな不安に対して、AさんやBさんから、地域の人たちの立場に立った助言をもらえたことで、その不安も解消されていき、地元祭礼団体の皆さんからも快くご協力を得ることができました。

そして迎えた当日は、天候も良く絶好の祭り日和となりました。観覧席も思った以上に良いロケーションで、カンカン場のやりまわし全体が見渡せて、大勢の曳き手が勢いよく駆け抜けるさまが迫力満点で感激しました。観覧席でのだんじり祭見物後、18時から、提灯を灯しただんじりが並んだ疎開道を歩き、篠笛奏者の人からだんじり祭の成り立ち、彫刻師の人からだんじりに彫られている彫り物の解説も頂き、充実した企画となりました。



こんかい きかく だいせいこう お
 今回の企画が大成功に終わることができたのも、AさんやBさんのような所謂、福祉関係ではな
 い、^{また} ^{ちが} ^{ぶんや} ^{ひとびと} ^{つな} ^{つく} ^{わたし} ^{しょうがいしゃ}
 全く違う分野の人々との繋がりを作ることができたからであり、私たち障害者の
 じりつせいかつらんど うとうじしゃせい だいじ ^{つな} ^{ひと} ^{たい}
 自立生活運動も当事者性を大事にしながらもこれまで繋がってこれなかった人たちに対する
 あぶろーち ひろ ^{あたら} ^{おも}
 アプローチも広げていかなければと改めて思いました。



こんかい はじ ^{この} ^{ほんまつ} ^{ぜんじつ} ^{しけんびき} ^ひ ^{じっし}
 今回は、初めての試みということもあり、本祭りの前日の試験曳きの日の実施となりましたが、
 らいねん ^ぜ ^{ほんぼん} ^{ほんまつ} ^ひ ^{せってい} ^{はたら} ^{かんが}
 来年は是非、本番の本祭りの日に設定できるよう働きかけていきたいと考えています。
 まつり ^お ^{しゅんかん} ^{つぎ} ^{とし} ^{じゅんび} ^{はじ} ^い ^{わたし} ^と ^く
 だんじり祭は、終わった瞬間から次の年の準備が始まると言われていますが、私たちの取り組み
 らいねん ^む ^{うご} ^だ ^{おも}
 も来年に向けて動き出していきたいと思えます。



【今回、参加していただいたみなさんの感想が新聞に掲載されたので紹介します。】

初めてだんじりを観覧したという西宮市の人は「毎年すごい人出なので敬遠していた。

この迫力は映像では伝わらない。」岸和田市の人は「久しぶりに祭礼気分を堪能しました。」

(9/13産経新聞) 和歌山から参加した人からは「迫力のあるだんじりをまた、生で見られるなんて

涙が出そう。」(9/13毎日新聞)「来年以降もこういう場をぜひ設けてほしい。(9/13朝日新聞)

ぶんせき ひがしたに ふとし
【文責：東谷 太】

げっかんの ーまらいぜーしょん がつごうけいさいぶん
(月刊ノーマライゼーション12月号掲載文より)